

実際の現場で土砂災害についての防災学習を実施

～地元小学生が熊野地区にある紀伊半島大水害被災箇所を訪れました～

- 3月6日(木)、田辺市立鮎川小学校の5年生14名を対象に熊野地区の現場で、和歌山県土砂災害啓発センターと連携して土砂災害に関する防災学習を実施しました。
- 当日は、平成23年の紀伊半島大水害を経験していない生徒さんにもわかりやすいよう熊野地区の被災状況などを説明した後、実際に現地に赴いて崩壊斜面や砂防施設の施工状況を見ていただくことで、土砂災害や防災に関する理解を深めていただきました。
- 紀伊山系砂防事務所では今後もこのような活動を通じて、地域の方々にも土砂災害を自分事化していただき防災意識を高めていただくことで、流域・地域全体の防災力向上に努めてまいります。



現地視察 (熊野地区崩壊斜面)

建設監督官が紀伊半島大水害被災箇所についてパネルを使って説明



座学 (百間山溪谷キャンプ村管理棟)

和歌山県土砂災害啓発センターの職員による紀伊半島大水害の説明



現地視察 (熊野地区1号砂防堰堤)

建設監督官が砂防堰堤の役割についてパネルを使って説明

生徒さんの感想

- ・天然ダムがこわれると、土石流が発生して、おそろしいことになるとわかりました。
- ・崩壊したところが想像以上に大きくて、驚きました。
- ・直すためにいろんな人たちが働いていてすごいと思いました。

【問い合わせ先】
 国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所
 〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL 0747-25-3111 (代)

